

料金体系の変更に伴う影響

～シミュレーションによる比較～

令和6年10月25日

第5回水道事業経営審議会

基本料金の設定

方針決定事項

- ①料金改定率は平均51%の引き上げとすること。
- ②水道料金に占める基本料金割合を35%とする。



現行の基本料金をベースに、料金収入における平均改定率51%と、基本料金割合35%により算出される増加率を乗じる。

基本料金内の口径ごとの負担割合は変更しない

水量料金の設定

方針決定事項

- ①料金改定率は平均51%の引き上げとすること。
- ②基本料金割合35% ⇒ 水量料金割合65%
- ③水量料金における逓増度を緩和すること。



現在の逓増度 = 3.0

水量料金の必要な収入合計は①と②から算出される。

③逓増度については、今回「2.8」「2.5」「2.2」の
3パターンでシミュレーション。

(注意) 急激な変更に伴う使用者負担を考慮する

影響額シミュレーションのパターン

- Ver. 1 : 逡増度3.0
(各水量区分に均等増加率)
- Ver. 2 : 逡増度2.8
- Ver. 3 : 逡増度2.5
- Ver.4-1 : 逡増度2.2
(第 1 水量区分 115円)
- Ver.4-2 : 逡増度2.2
(第 1 水量区分 120円)

現行料金体系						
基本料金 (1月につき)		水量料金 (1月で 1 m ³ につき)				
用途及び メーター口径 の区分	料金	第1区分 0m ³ ~ 10m ³	第2区分 11m ³ ~ 20m ³	第3区分 21m ³ ~ 50m ³	第4区分 51m ³ ~ 100m ³	第5区分 101m ³ 以上
13mm	980 円	70円	140円	165円	190円	210円
20mm	1,830 円					
25mm	2,650 円					
30又は40mm	5,490 円					
50mm	10,000 円					
75mm	21,300 円					
100mm	37,000 円					
100mmを 超えるもの	77,500 円					

※第 2 ~ 5 区分について、各々同じくらい差分になるように配分。

類似団体との比較

【現行料金との比較】

1 4団体のうち、秩父広域市町村圏組合より高い料金

2 か月 1 8 m³使用した場合 ⇒ 3 団体

2 か月 3 2 m³使用した場合 ⇒ 9 団体

2 か月 4 4 m³使用した場合 ⇒ 5 団体

2 か月 5 6 m³使用した場合 ⇒ 4 団体

2 か月 7 2 m³使用した場合 ⇒ 4 団体

秩父広域 1 3 mmの口径で
平均使用水量である 3 2 m³
においては、他の団体より
比較的安価となっている



配分の調整が必要

【改定料金との比較】

秩父広域より高いのは 1 団体のみ。



料金高騰の抑制が必要

(仮) 構成市町からの補助があった場合では

- ・ 現在とほぼ同額、5年間で18億円
- ・ 現在の8割ほど、5年間で14億円

補助金の配分方法 (例)

(1) 均一補助・・・全ての口径、水量区分に補助

(2) 少量使用区分に補助 (※)

- ・ 口径13、20mm、第1～2水量区分を補助
- ・ 口径13、20mm、第1～3水量区分を補助

※考慮すべき事項：特に少量使用者の負担割合が高いことへの対策

影響額シミュレーションのパターン（補助あり）

現行料金体系		(税抜)				
基本料金（2月につき）		水量料金（2月で1 m ³ につき）				
用途及び メーター口径 の区分	料金	第1区分 0m ³ ～ 20m ³	第2区分 21m ³ ～ 40m ³	第3区分 41m ³ ～ 100m ³	第4区分 101m ³ ～ 200m ³	第5区分 201m ³ 以上
13mm	1,960 円	70円	140円	165円	190円	210円
20mm	3,660 円					
25mm	5,300 円					
30又は40mm	10,980 円					
50mm	20,000 円					
75mm	42,600 円					
100mm	74,000 円					
100mmを 超えるもの	155,000 円					

補助金の配分方法

（2）少量使用区分に補助

- ・口径 13、20mm、
第1～2水量区分を補助
第1～3水量区分を補助

【水量料金の計算方法】 使用水量180m³

第1区分：20m³×70円＝1,400円

第2区分：20m³×140円＝2,800円

第3区分：60m³×165円＝9,900円

第4区分：80m³×190円＝15,200円

水量料金計 29,300円

（＝1,400円＋2,800円＋9,900円＋15,200円）

第1～3水量区分への補助とは、すべての使用者に対する補助となる

影響額シミュレーションのパターン

口径 13 mm、2 か月 30 m³の料金比較表

【補助なし】

現行との差：2,860円

使用水量	現行料金	Ver1	Ver2	Ver3	Ver4-1	Ver4-2
30	4,760	7,400	7,420	7,620	7,820	7,820

例 1：現在とほぼ同額、5 年間で 18 億円

現行との差：1,260円

使用水量	現行料金	均一		13, 20mm、第 1～2 区分		13, 20mm、第 1～3 区分	
		Ver3	Ver4-1	Ver3	Ver4-1	Ver3	Ver4-1
30	4,760	6,680	6,880	6,020	6,220	6,270	6,420

例 2：現在の 8 割ほど、5 年間で 14 億円

現行との差：1,580円

使用水量	現行料金	均一		13, 20mm、第 1～2 区分		13, 20mm、第 1～3 区分	
		Ver3	Ver4-1	Ver3	Ver4-1	Ver3	Ver4-1
30	4,760	6,930	7,130	6,340	6,590	6,540	6,740